



高島学園

中学校だより 【第4号】

令和6年 6月 4日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

大事にしたいこと

先日、地域の方が学校へお話に来られました。内容は次のことです。

「自転車で下校中の中学生が一旦停止をせず、私の車の前を通過した。減速したので無事だったけれど、とても危なかった。止まることなく去っていったので追いかけて、注意をしたけれど、横を向いて話を聞いていない様子だった。事故にならなくてよかった。これで事故になっていたらかなわんよ。」

お聞きし、ほんとうにドキッとしました。以前、同じような状況で事故になったこともあり、大変なことになる前に知らせていただき感謝します。自転車のマナーについて学校で話をしました。自転車は加害の側になることも多くなっています。自分の命を守るため、加害者にならないために、やるべきことをしっかりとできるようにしたいものです。家庭でも話をしやってください。

また、このお話には、子どもの育ちに向けて大事にしたいことが含まれています。周囲の大人が子供たちのより良い成長に向けてかかわっていききたいものです。

6月 一学期の中間です ～Shining Smile～

6月になり、一学期の中間地点をおかえました。

学校では、変化が見られます。朝、昇降口で生徒の挨拶運動が始まっています。生徒同士の挨拶の声が聞こえてきます。また、体育祭に向けた取り組みが熱くなってきました。どの学年も、自分の頑張りたいことを見つけて頑張る生徒の姿に出会います。今もなお、いくつかのクラスでは、みんなが部活に行った後、机をきちんと整頓している生徒がいます。毎日。すごい行動です。

9年生は進路について考えることが多くなりました。生徒と話すと、進路を意識し、勉強に取り組んでいるということです。授業の様子が変わりました。背筋を伸ばして話を聞き、課題に取り組んでいます。積み重ねが力をつける時です。進路決定まで10ヶ月です。

体育祭の取組では、前に立ってクラスや団をまとめようとする9年生がいます。全校生にとって、声の大きさ、話す速さなどに気を配り、放送や人前でしっかり話をする生徒が出てきました。人に伝わる話し方というのは、なかなか難しいものですが、しっかりやっています。

いろんなことが重なって、力をつけ、しっかりした生徒が増えてきました。そして、その9年生に、7、8年生がしっかりとついていっています。



8年目のコミュニティ・スクール ～どこからでも、どこまででも、どの間でも～

昨年度、今の9年生が8年生の時に進路学習を始めるにあたり、進路座談会を持ちました。高島市内各地から多くの方が来てくださり、不安に思うことや悩み事などを聞いてくださいました。その時の方々が、生徒の見守りに来てくださっています。久しぶりに再会し、生徒の成長に感激されています。

学園の研究会が本格的に始まります。全体研修会で、授業で大切にすることを聞かせてもらっています。子どもたちが考え、グループで伝え合い、学び合い、子どもがつながり合って、深い学びにつながるよう研究していきます。

6月3日(月)
PTA 環境整備作業
多くのご参加ありがとうございました。

6月5日(水)
体育祭
開会式(8:30)

6月19日(水)
学園研究会
5校時研究授業(13:55)



ナスの成長

「～どこからでも、どこまででも、どの間でも～」よろしくお願いします。

校内でも、校外でも、どこでも

大会の日でした。担任が不在の中、朝のチャイムで席に向かい、読書を始め、そして、朝の会を自分たちで行い、1時間目を始めたクラスがありました。また、教室や廊下のごみ箱にたまったごみの回収を手伝ってくれる生徒がいます。さらに、「スーパーなどで出会っても、笑顔で挨拶をしてくれる生徒がいます。」という声をよく聞きます。どこでも良いと思うことを自ら行う本校生徒の姿です。

先輩に学ぶ

先週より、本校卒業の大学生が数学の教員をめざし、2週間の教育実習を行いました。しっかりとした先輩が、母校に戻って、活躍してくれています。

数学が専門で、数学の授業を指導してくれました。先週、道徳の授業研究をしてくださいました。生き生きとした指導ぶりに感心させられます。大学生となり、立派になって母校に戻って来て、中学生にかかわってくれました。このように良い影響を及ぼしてくれることをうれしく思います。

一緒に考え、話しましょう

「スマホ」の進化が止まりません。生活が便利になり、誰もが活用する時代となりました。

しかし、多くの学校で持ってくることを禁止しています。本校も同じです。生徒は、どうしても必要な時は、理由を述べ、職員室にあずけています。

「なんであかんの？」という声が上がることがあります。一緒に考え、話してやってください。

予告なしの3分35秒

「火災発生」の放送から、全校生徒の避難が確認されるまで3分35秒でした。

予告なしで行った避難訓練ですが、

- ・全員が率先して避難したこと
- ・火元の近くを避け、安全な経路をとったこと

今まで学習したことを活かし、行動できました。災害はいつ起こるか、誰も予測できません。訓練での真剣さは、災害に備えるために最も大事なことです。